数　量　総　括　表

レベル2・3 工種・種別	レベル4 細別	レベル5 規格	単位	数　量	計上数量	備　　考
道路土工						
掘削工	掘削	土砂,ｵｰﾌﾟﾝ,5,000m3未満	m^3	12.4	10	
路床盛土工	路床盛土	4.0m＜W	m^3	48.1	50	
路床盛土工	路床盛土	2.5m＜W≦4.0m	m^3	15.5	20	
残土等処理工	土砂等運搬		m^3	428.6	430	
	残土等処分		m^3	428.6	430	
軽量盛土工						
作業土工	床掘		m^3	501.1	500	
	埋戻し	最大埋戻幅　1m未満	m^3	11.6	10	
軽量盛土	発砲スチロール設置		m^3	285	285	
	発泡ｽﾁﾛｰﾙ(材料費)	ESP　D-25	m^3	107	107	
	発泡ｽﾁﾛｰﾙ(材料費)	ESP　D-20	m^3	178	178	
	緊結金具		個	655	655	
壁面工	壁面材設置		m2	110.0	110	
	壁面材ﾊﾟﾈﾙ(ｶﾞｲﾄﾞﾋﾟﾝ無し)(材料費)	P1標準ﾀｲﾌﾟ 480×980×25	枚	202	202	
	壁面材ﾊﾟﾈﾙ(ｶﾞｲﾄﾞﾋﾟﾝ無し)(材料費)	P2標準ﾀｲﾌﾟ 480×480×25	枚	26	26	
	壁面材ﾊﾟﾈﾙ(ｶﾞｲﾄﾞﾋﾟﾝ無し)(材料費)	P3標準ﾀｲﾌﾟ 230×980×25	枚	9	9	
	壁面材ﾊﾟﾈﾙ(ｶﾞｲﾄﾞﾋﾟﾝ無し)(材料費)	P4標準ﾀｲﾌﾟ 280×480×25	枚	4	4	
コンクリート床板	コンクリート床板	ｔ＝150mm 24-12-25BB W/C≦55%	m3	39.5	40	
	鉄筋工	SD345、D13	t	4.16	4.16	
	化粧型枠		m2	10.60	11	
	軽量残存型枠	上部床板用 150×1000×40	枚	37	37	S1
		段差用（上部） 400×150×40	枚	6	6	S2
		中間床板用 150×1000×40	枚	31	31	S5
基礎工	基礎工		m	29.9	30	
排水構造物工	硬質塩化ビニル管	VP-100	m	25.3	25	
	吸出し防止材	ｔ＝50mm	m2	0.3	0.3	

数　量　総　括　表

レベル2・3 工種・種別	レベル4 細別	レベル5 規格	単位	数　量	計上数量	備　　考
裏込砕石工	裏込砕石（軽量盛土）	6m以下 単粒度砕石　4号	m3	40.0	40	
舗装工						
アスファルト舗装	表層	再生密粒度アスコン 20F t=5cm	m2	196.1	196	
	上層路盤	粒調砕石 M-40 t=15cm	m2	181.3	181	
	下層路盤	再生砕石 RC-40 t=19cm	m2	181.3	181	
排水構造物工						
作業土工	床掘		m^3	3.4	3	
	埋戻し	最大埋戻幅　1m未満	m^3	5.1	5	
側溝工（撤去）	落蓋側溝	B300-H300	m	17.0	17	
側溝工（再設置）	落蓋側溝	B300-H300	m	17.0	17	
構造物撤去工						
防護柵（撤去）	ガードレール		m	30.0	30	
コンクリート取壊し	構造物取壊し	無筋構造物	m3	138.2	138	
	殻運搬	無筋Co,23.2km以下	m3	138.2	138	
	殻処分	無筋ｺﾝｸﾘｰﾄ	m3	138.2	138	
舗装取壊し工	舗装版破砕	As舗装厚 t=5cm	m2	196.1	200	
	舗装版切断	As舗装厚 t=5cm	m	15.0	15	
	殻運搬	As舗装版、22.0km以下	m3	9.8	10	
	殻処分	アスファルト塊	m3	9.8	10	
防護柵工						
路側防護柵工	ガードレール	Ｇｒ-C-2B	m	30	30	
防護柵基礎工	プレキャスト防護柵基礎工		m	30.0	30	
	プレキャスト防護柵基礎調整コンクリート	18-8-40BB W/C≦60%	式	1.0	1	
区画線工						
区画線工	車道外側線	白、実線、15ｃｍ	m	61.9	62	

項　目	計　算　式	単位	数量
掘削工			
掘削	土砂、オープン		
	V=　12.4	m3	12.4
路床盛土工			
路床盛土	土工計算書より		
	4.0以上		
	V=　48.1	m3	48.1
	2.5m以上4.0m未満		
	V=　15.5	m3	15.5
作業土工（排水工）			
床掘り			
	V=　3.4	m3	3.4
埋戻し	土工計算書より		
	1.0未満		
	V=　5.1	m3	5.1
作業土工（軽量盛土工）			
床掘り			
	V=　501.1	m3	501.1
埋戻し			
	1.0未満		
	V=　11.6	m3	11.6
残土処理工			
	土砂		
	V= 12.4（掘削） + （ 3.4（床掘・排水） + 501.1（床掘・軽量盛土） ）− (48.1（路床盛土4m以上）（路床盛土2.5m以上4m未満） + 15.5 + 5.1（埋戻し・排水） + 11.6（埋戻し・軽量盛土）)×（締固め変化率） 1.1 = 428.6	m3	428.6

土　工　計　算　書

測　　点	距　離	オープン掘削									摘　　要
		断面積	平均断面	土　　量	断面積	平均断面	土　　量	断面積	平均断面	土　　量	
NO.　0 ＋　0.000		1.8									
NO.　0 ＋　4.500	4.5	0.5	1.15	5.2							
NO.　0 ＋　14.000	9.5	0.0	0.25	2.4							
NO.　0 ＋　27.700	13.7	0.7	0.35	4.8							
合　　計	27.7			12.4			-				

土　工　計　算　書

測　　点	距　離	路床盛土 W<2.5m			路床盛土 2.5m≦W<4.0m			路床盛土 4.0m<W			摘　要
		断面積	平均断面	土　量	断面積	平均断面	土　量	断面積	平均断面	土　量	
NO. 0 + 0.000		0.0			1.1			0.0			
NO. 0 + 4.500	4.5	0.0	0.00	0.0	0.0	0.55	2.5	2.4	1.20	5.4	
NO. 0 + 14.000	9.5	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	2.7	2.55	24.2	
NO. 0 + 27.700	13.7	0.0	0.00	0.0	1.9	0.95	13.0	0.0	1.35	18.5	
合　　計	27.7			-			15.5			48.1	

土　工　計　算　書

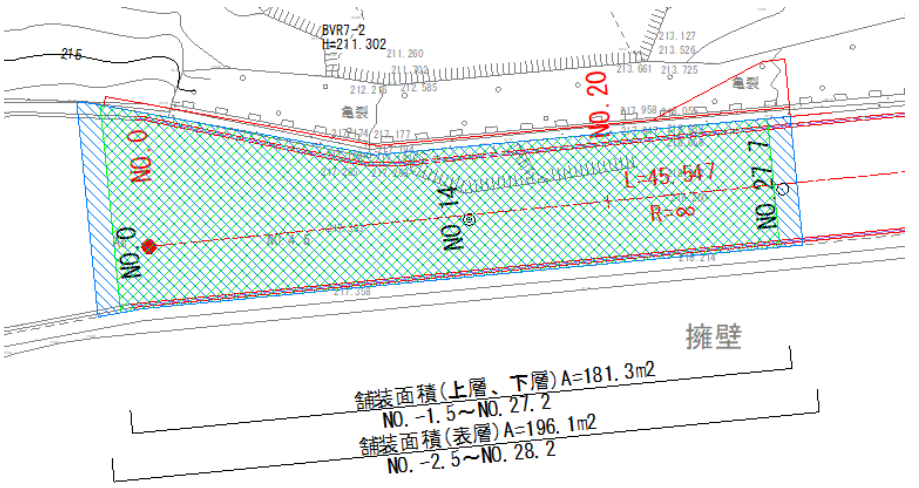
測　　点	距　離	床掘（排水工）			埋戻（排水工）						摘　　要
					W<1.0m						
		断面積	平均断面	土　　量	断面積	平均断面	土　　量	断面積	平均断面	土　　量	
NO.　0 ＋　7.800		0.2			0.3						No.0+14に同じ
NO.　0 ＋　14.000	6.2	0.2	0.20	1.2	0.3	0.30	1.9				
NO.　0 ＋　24.800	10.8	0.2	0.20	2.2	0.3	0.30	3.2				No.0+14に同じ
合　　計	17.0			3.4			5.1				

落蓋側溝　　延長調書

B300-H300

左　側　測　点	延　長	右　側　測　点	延　長
NO.　0 +　7.8 ～　NO.　0 +　24.8	17.0		
	撤去・再設置		
小　計	17.0	小　計	-
		左 右 合 計 延 長	17.0

項　目	計　算　式	単位	数量
舗　装　工			
	車道舗装		
表層	【再生密粒度アスコン20F，t=5cm】		
	根拠図より　　A1=　196.1　m2		
上層路盤	【粒調砕石(M-40)，t=15cm】		
	根拠図より　　A1=　181.3　m2		
下層路盤	【再生砕石(RC-40)，t=19cm】		
	根拠図より　　A1=　181.3　m2		
	根拠図		



軽量盛土工
土工数量総括表

工　　種	項　　目	規　　格	単位	数　　量	備　　考
土工	床掘	土砂	m3	501.1	
	埋戻し	最大埋戻幅 1m未満	m3	11.6	良質土(流用土)
	基礎部砕石埋戻し		m3	1.5	

土　工

床掘

測　点	単距離	断面積	平均断面積	土量	摘　要
起点側		11.29			No.-1.4
NO.0	2.905	11.29	11.29	32.8	
NO.4.5	4.474	24.43	17.86	79.9	
NO.14.0	8.668	15.30	19.87	172.2	
NO.27.6	13.736	14.98	15.14	208.0	
終点	0.549	14.98	14.98	8.2	No.28.2
			合計	501.1 m3	

埋戻し(最大埋戻幅 1m未満)

測　点	単距離	断面積	平均断面積	土量	摘　要
起点側		0.38			No.-1.4
NO.0	2.905	0.38	0.38	1.1	
NO.4.5	4.474	0.33	0.36	1.6	
NO.14.0	8.668	0.43	0.38	3.3	
NO.27.6	13.736	0.34	0.39	5.4	
終点	0.549	0.34	0.34	0.2	No.28.2
			合計	11.6 m3	

２． 軽量盛土工

・ 数量集計表

名　称	細　別・規　格	単位	数　量	摘　要
軽量盛土	EPS D－25	m3	107	
(発泡スチロール)	EPS D－20	m3	178	
	ΣV ＝	m3	285	EPSブロック総計
緊結金具		個	655	
排水材	長繊維不織布 ODS,t＝5mm	m2	159	設置工に含む

平均断面法　数量計算書

測　　点	延　長 L (m)	軽量盛土 (EPS D−25)			摘　要 V ＝ Am × L
		断面積 A (m2)	平　均 Am (m2)	体　積 V (m3)	
B.P	−−	1.30	−−	−−	※
No.0	2.455	2.60	1.950	4.79	
No. 4.5	4.474	3.28	2.940	13.15	
No. 14.0	8.668	3.68	3.480	30.16	
No. 27.6	13.736	4.40	4.040	55.49	
E.P	0.549	4.40	4.400	2.42	No.27.6適用
合　　計	29.882			106.01	
			ΣV ＝	107	(m3)

※ 印の数量は、隣接断面の数量との設置高の比率で算出する。

B.P　　＝　2.60　m2(隣接断面数量)×　0.50　m　／　1.00　m＝　1.3

平均断面法　数量計算書

測　　点	延　長 L (m)	軽量盛土 (EPS D－20)			摘　要 V ＝ Am × L
		断面積 A (m2)	平　均 Am (m2)	体　積 V (m3)	
B.P	－－	0.63	－－	－－	※
No.0	1.455	1.25	0.940	1.37	
No. 4.5	4.474	7.35	4.300	19.24	
No. 14.0	8.668	7.45	7.400	64.14	
No. 27.6	13.736	5.60	6.525	89.63	
E.P	0.549	5.60	5.600	3.07	No.27.6適用
合　　計	28.882			177.45	
			ΣV ＝	178	(m3)

※ 印の数量は、隣接断面の数量との設置高の比率で算出する。

B.P　　＝　1.25　m2(隣接断面数量)×　0.50　m　／　1.00　m＝　0.63

・ 緊結金具

	V (m3)	×	N (個/m3)			個数 N(個)
EPS D－25	107	×	2.3	＝	246	
EPS D－20	178	×	2.3	＝	409	
				ΣN ＝	655	655 個

※ 表中の個数及び合計の値は、EPS現場加工等による増加分を考慮していません。

ここに、　V ： 規格別ＥＰＳブロックの数量 (m3)

N ： 2.3 個／m3

平均断面法　数量計算書

測　　点	延　長 L (m)	排水材 (長繊維不織布 ODS,t＝5mm)			摘　要 A ＝ Lm × L
		長　さ La (m)	平　均 Lm (m)	面　積 A (m2)	
B.P	－－	0.77	－－	－－	※
No.0	2.455	3.30	2.035	5.00	
No. 4.5	4.474	5.64	4.470	20.00	
No. 14.0	8.668	6.03	5.835	50.58	
No. 27.6	13.736	5.64	5.835	80.15	
E.P	0.549	5.64	5.640	3.10	No.27.6適用
合　　計	29.882			158.83	
			ΣA ＝	159	(m2)

※ 印の数量は、隣接断面の数量との設置高の比率で算出する。

B.P　　＝　3.30　m2(隣接断面数量)×　0.50　m　／　2.15　m＝　0.77

３．　コンクリート床版工

・ 数量集計表

名　称		細　別・規　格	単位	数　量	摘　要
コンクリート床版		t＝150mm	m2	251.4	
	床版コンクリート	σck=24N/mm2	m3	39.5	
	型　枠		式 (m2)	1 （ 12 ）	コンクリート床板に含むに含む
	鉄　筋	SD345, D13	t	4.16	3.64+0.52
	目地材	t＝20mm	m2	1.3	コンクリート床板に含む
軽量残存型枠設置工			m2	10.6	
	軽量残存型枠	150×1000×40	枚	37	S1
		400×150×40	枚	6	S2
		150×1000×40	枚	31	S5

＜ 床版部・t＝150㎜ ＞

＊ 形状寸法

種　別	施工延長 L (m)	平面積 A (m2)	厚　さ t (m)			
上部床版	30.332	177.98	0.150			
中間床版	28.882	73.40	0.150			
合　計　　Σ＝	59.214	251.4				

※ 「コンクリート床版平面図」を参照。

＊ 目地材　設置寸法

	設置幅　B(m)						
	上部床版	中間床版					
1	6.285	2.085					
小計	6.285	2.085					
					合計　ΣB ＝	8.370	(m)

※　目地材設置位置・設置幅は、「コンクリート床版平面図」を参照。

・ コンクリート　　(σck=24N/mm2)

	ΣA (m2) × t (m)		体積 V(m3)
床版部	251.4 × 0.150	= 37.71	
段差部	(次頁　参照)	= 1.82	
		ΣV = 39.5	39.5 m3

・ 型　枠

		面積 A(m2)
段差部	(次頁　参照) = 12.10	
	ΣA = 12.10	12 m2

※ 「コンクリート床版平面図」を参照。

・ 鉄　筋　　SD345, D13 (150×150)

(参考) 鉄筋金網の単位質量 W_0 ＝　14.000 kg/m2 (建設物価 P.75参照 2023年度版)

	A2 (m2) × W_0(kg/m2) ／ 1,000		重量 W(t)
床版部	260.20 × 14.000 ／ 1,000		
		W = 3.64	3.64 t

※ 表中の面積[A2(m2)]は、下式により求めた値とする。(国土交通省土木工事積算基準 R5年度版)

※ 溶接金網の材料ロスを参照。

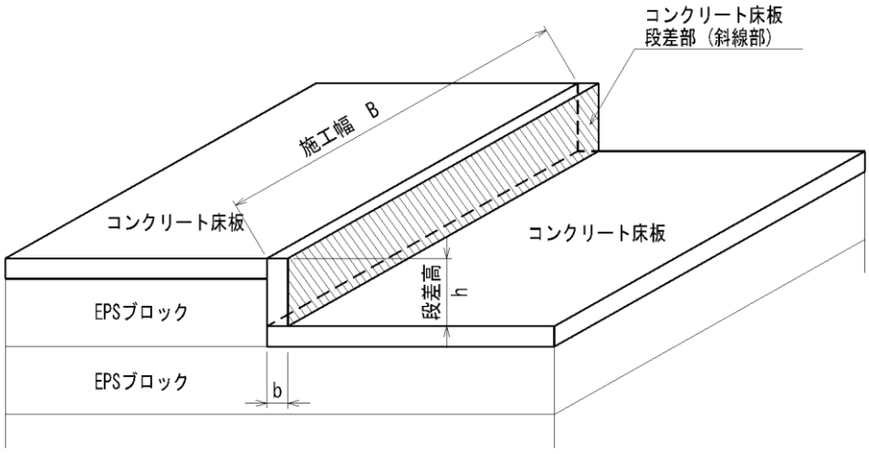
A2(m2) ＝ V (m3) [コンクリート体積] × 69m2 ／ 10m3

＝　260.20 m2

・ 目地材　　(t＝20mm)

	ΣB (m) × t (m)		面積 A(m2)
床版部	8.37 × 0.150		
		A = 1.26	1.3 m2

＜ コンクリート床版段差部 ＞



・ 形状・寸法

	段差高 h (m)	施工幅 B (m)	部材幅 b (m)	体 積 V (m3)	正面型枠 A (m2)	鉄 筋 W (t)	摘 要
1	0.250	7.685	0.150	0.29	1.92	0.082	
2	0.250	8.285	0.150	0.31	2.07	0.088	
3	0.250	7.685	0.150	0.29	1.92	0.082	
4	0.250	8.785	0.150	0.33	2.20	0.094	
5	0.250	7.685	0.150	0.29	1.92	0.082	
6	0.250	8.285	0.150	0.31	2.07	0.088	
合 計 Σ＝		48.410		1.82	12.10	0.516	

※ 体 積 V(m3) ＝ h(m) × B(m) × b(m)

正面型枠 A(m2) ＝ h(m) × B(m)

鉄 筋 W(t) ＝ Wo(kg/m) × B(m) ／ 1000

Wo(kg/m)＝10.663（次項による）

・ 鉄筋質量

段差高 H (mm)	規格・径・長さ	鉄筋質量 W_0		
		(kg/10m)	(kg/m)	
h ＝ 250 mm	SD345, D13	106.631	10.663	

※ 上記、寸法・数量は「軽量盛土工構造図 (2)」を参照。

・ 鉄　筋　　(SD345, D13)

ΣW (t)	重量 W(t)
0.516 (前頁　参照) ΣW ＝ 0.516	0.52 t

＜ コンクリート床版用軽量残存型枠 ＞

・ 軽量残存型枠

名称	形　状 高さ × 幅 × 厚さ (mm)	数　量 N (枚)	摘　要
上部床版用	150 × 1000 × 40	37	S1
上部床版段落用	400 × 150 × 40	6	S2
中間床版用	150 × 1000 × 40	31	S5
	合　計	74	

残存型枠設置面積

A=0.15×1.0×37+0.4×0.15×6+0.15×1.0×31＝　　10.6　　m2

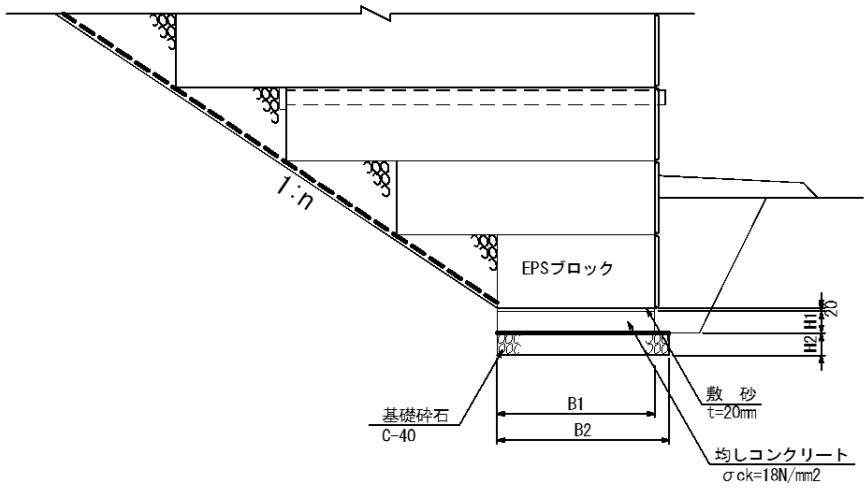
４． 基礎工・排水構造物工

・ 数量集計表

名 称	細 別・規 格	単位	数 量	摘 要
基礎工		m	29.9	
コンクリート	σck=18N/mm2	m3	3	均しｺﾝ
型 枠		式 (m2)	1 6	
基礎砕石	ＲＣ－40，ｔ＝10cm	m2	33	
敷砂	ｔ＝20mm	m2	1	
水抜きパイプ	VPφ100	m	25.3	※ 設置 N＝14箇所
吸出防止材	ｔ＝50mm，150×150	m2	0.3	14枚

＜ 基礎部 ＞

・ 断面図



＊ 形状寸法

均しコン高 H1 (m)	基礎砕石高 H2 (m)	均しコン幅 B1 (m)	基礎砕石幅 B2 (m)				施工延長 L (m)
0.100	0.100	1.000	1.100				29.882

(均しコンクリート)

・ コンクリート　　(σck=18N/mm2)

B1 (m)	×	H1 (m)	×	L (m)			体積 V(m3)
1.000	×	0.100	×	29.882			
10mあたり					V ＝	2.99	3 m3
1.000	×	0.100	×	10.0	V ＝	1.00	

・ 型　枠

H1 (m)	×	L (m)	×	2			面積 A(m2)
0.100	×	29.882	×	2			
10mあたり					A ＝	5.98	6 m2
0.100	×	10.000	×	2	A ＝	2.00	

(基礎砕石)

・ 基礎砕石　　(R C－40, t＝10cm)

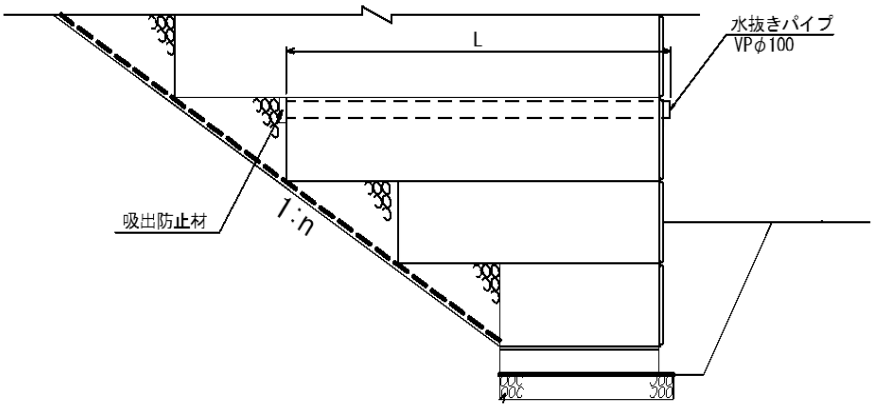
B2 (m)	×	L (m)			面積 A(m2)
1.100	×	29.882			
10mあたり			A ＝	32.87	33 m2
1.100	×	10.000	A ＝	11.00	

(敷砂)

・ 敷砂　　(t＝20mm)

B1 (m)	×	L (m)	×				体積 V(m3)
1.000	×	29.882	×	0.02			
10mあたり					V ＝	0.60	1 m3
1.000	×	10.000	×	0.02	V ＝	0.20	

＜ 排水関係 ＞



・ 水抜きパイプ

敷設平面積　A ＝　53.94 (m2)　(次頁、平均断面法計算書を参照。)

敷設延長　L ＝　29.882 (m)　(次頁、平均断面法計算書を参照。)

平均設置幅　Bm ＝　53.94 (m2) ／　29.882 (m)

＝　1.81 (m)

設置箇所数　N ＝　14 (箇所)　(軽量盛土工壁面展開図参照)

・ 水抜きパイプ　(VPφ100)

N (箇所) × Bm (m)	長さ L(m)
14 × 1.81	
L ＝ 25.34	25.3 m

・ 吸出防止材　(t＝50mm, 150×150)

N (枚)	面積 A(枚)
14 (＝ 水抜きパイプ設置箇所数) × 0.15 × 0.15	
A ＝ 0.3	0.3 m2

平均断面法　数量計算書

測　　点	延　長 L (m)	水抜きパイプ（ VPφ100 ）			摘　要 A ＝ Lm × L
		敷設延長 L1 (m)	平　均 Lm (m)	敷設平面積 A (m2)	
B.P	－－	1.58	－－	－－	No.0適用
No.0	2.455	1.58	1.580	3.88	
No. 4.5	4.474	1.58	1.580	7.07	
No. 14.0	8.668	2.18	1.880	16.30	
No. 27.6	13.736	1.58	1.880	25.82	
E.P	0.549	1.58	1.580	0.87	No.27.6適用
合　　計	29.882			53.94	
				ΣA ＝ 54	(m2)

５． 壁面工

・ 数量集計表

名　称	細　別・規　格	単位	数　量	摘　要
壁面材	t＝25mm	m2	110.0	
着脱式軽量壁面材	480×980×25	枚	202	QLW-P1
	480×480×25	枚	26	QLW-P2
	230×980×25	枚	9	QLW-P3
	230×480×25	枚	4	QLW-P4

・ 壁面材

名称	形　状 高さ × 幅 × 厚さ (mm)	単位面積 A (m2/枚)	数　量 N (枚)	面　積 A (m2)	摘　要
無印	480 × 980 × 25	0.500	202	101.00	QLW-P1
A	480 × 480 × 25	0.250	26	6.50	QLW-P2
B	230 × 980 × 25	0.250	9	2.25	QLW-P3
C	230 × 480 × 25	0.125	4	0.50	QLW-P4
	合　計		241	110.25	
			ΣA ＝	110.3	(m2)

※ 設置位置等は、「壁面展開図」を参照。

※ 壁面材数量は、加工ロス分を含む。

・ 壁面積　　(t＝25mm)

A (m2)	面積 A(m2)
110.300 A ＝ 110.30	110 m2

※ 上記、壁面積は加工ロス分を含む。

６．　裏込砕石工

・ 数量集計表

名　称	細　別・規　格	単位	数　量	摘　要
裏込砕石	単粒度砕石　4号	m3	40.0	
盛土高6.0m以下		m3	40.0	

平均断面法　数量計算書

測　　点	延　長 L (m)	裏込砕石 (盛土高6.0m以下)			摘　要
		断面積 A (m2)	平　均 Am (m2)	体　積 V (m3)	
B.P	－－	0.20	－－	－－	※
No.0	2.455	0.85	0.525	1.29	
No. 4.5	4.474	1.45	1.150	5.15	
No. 14.0	8.668	1.50	1.475	12.79	
No. 27.6	13.736	1.42	1.460	20.05	
E.P	0.549	1.42	1.420	0.78	No.27.6適用
合　　計	29.882			40.06	
			ΣV ＝	40	(m3)

※ 印の数量は、隣接断面の数量との設置高の比率で算出する。

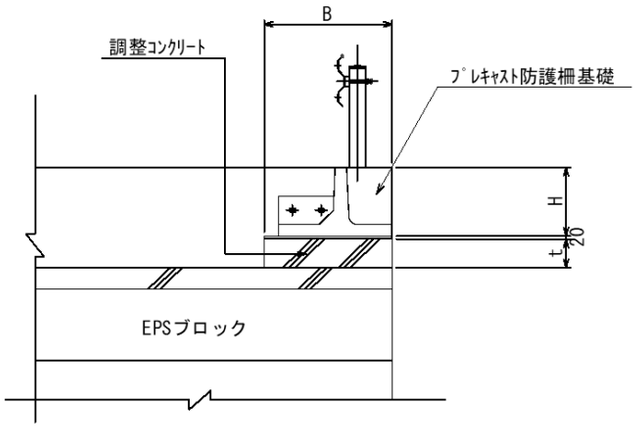
B.P　　＝　0.85　m2(隣接断面数量)×　0.50　m　／　2.15　m＝　0.2

７． 防護柵・防護柵基礎工

・ 数量集計表

名　称	細　別・規　格	単位	数　量	摘　要
ガードレール	Gr-C-2B	m	30	
防護柵基礎	プレキャストGr基礎	m	30	H＝480mm
上部調整ｺﾝｸﾘｰﾄ	18-8-40BB　W/C≦60%	m3	7	
型　枠		m2	15	
目地材	t＝10mm	m2	0.5	

＜ 防護柵基礎工 ＞



＊ 形状寸法

平均壁高 t (m)	底版幅 B (m)	延　長 L (m)					
0.250	0.900	30.000					

※ 平均壁高 (Hm) は軽量盛土工展開図からCADで求積を行った壁面積を防護柵基礎工の
延長で除したものとする。 (「軽量盛土工構造図(5)」を参照。)

Hm ＝ 壁面積 ／ 延 長

＝ 7.620 ／ 30.000 ＝ 0.250 m

＊ 目地材

規　格	箇所数 N (箇所)			摘　要
t＝10mm	2			

・ 防護柵基礎　　（ プレキャストGr基礎 ）

L (m)		延長 L(m)
30.000		15 個
	L ＝ 30.00	30 m

・ 上部調整コンクリート　　(18-8-40BB　W/C≦60%)

t (m)	×	B (m)	×	L (m)		体積 V(m3)
0.250	×	0.900	×	30.000		
					V ＝ 6.75	7 m3

・ 型　枠

t (m)	×	2 (両面)	×	L (m)		面積 A(m2)
0.250	×	2	×	30.000		
					A ＝ 15.00	15 m2

・ 目地材(調整コンクリート部)　(t＝10mm)

t (m)	×	B (m)	×	N (箇所)		面積 A(m2)
0.250	×	0.900	×	2		
					A ＝ 0.45	0.5 m2

防護柵工　　延長調書

ガードレールGr-C-2B

左　側　測　点	延　長	右　側　測　点	延　長
NO.　0 －　2.9 ～　NO.　0 ＋　28.2	30.0		
小　計	30.0	小　計	－
左　右　合　計　延　長			30.0

区画線工内訳書

項　目	計　　算　　式			単位	数　量
区画線	（区画線平面図参照）				
	【車道外側線、白、実線、15cm】				
	NO.0.0～NO.28.2(L)	L1=	31.2 m		
	NO.-1.0～NO.28.2(R)	L2=	30.7 m		
		ΣL=	61.9 m		

道路付属施設撤去工　　延長調書

ガードレール

左　側　測　点	延　長	右　側　測　点	延　長
		NO.　0 －　1.4 ～　NO.　0 ＋　28.2	30.0
小　計	－	小　計	30.0
左　右　合　計　延　長			30.0

重量計算書

無筋

・既設ブロック積擁壁

NO.1.4～NO.28.2　　L=　27.1 m

A=　5.1 m2

A=　3.8 m2 +　7.0 m2

+　3.1 m2 +　6.4 m2　=　20.3 m2

平均断面=　20.3 m2 /　4　=　5.1

V=　5.1 m2 ×　27.1 m　=　138.2　m3

コンクリート処分量計算書

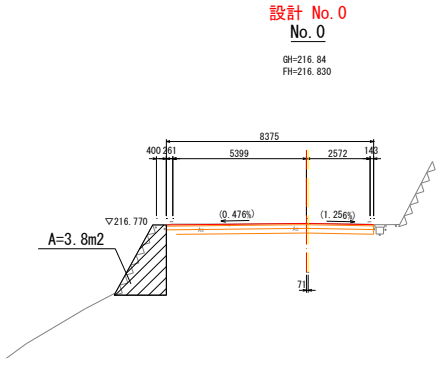
(無筋)

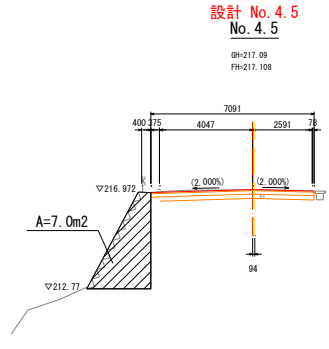
・コンクリート取壊し・処分

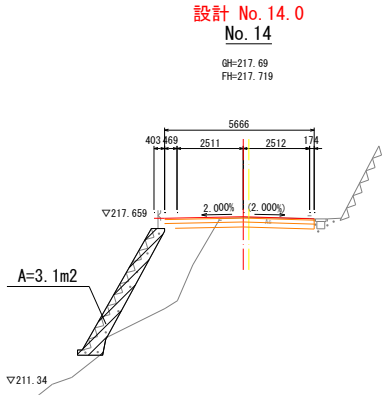
V=　138.2　＝　138.2 m^3

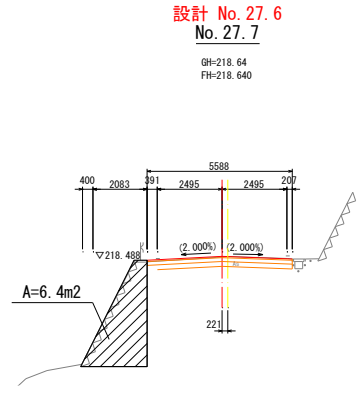
・ｺﾝｸﾘｰﾄｶﾞﾗ処分重量(参考)

W=　138.2 m3 ×　2.350 (t/m^3)　＝　325 t









構造物撤去工内訳書

項　目	計　　算　　式	単位	数　量
舗装版			
破砕			
	【As舗装破砕】		
	平面図より		
	・表層工		
	A= 196.1 = 196.1 m^2		
切断	撤去平面図より		
	L= 9.4 + 5.6 = 15.0 m	m	15.0
アスファルト			
ガラ処分	車道舗装撤去分		
	平面図より = 196.1 m^2		
	Σ A= 196.1 m^2		
	V1= 196.1 × 0.050 = 9.8 m^3		
	（舗装厚 t=5cm）		
	車道舗装撤去分重量（参考）		
	W= 9.8 × 2.35 (t/m^3) ×1.08 ≒ 25 ＝ 25 t		
	（転圧減量）		